

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：戸塚せせらぎ保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：佐藤 美佳	定員（利用人数）：83 名	
所在地：〒244-0002 横浜市戸塚区矢部町3001-2第7山洋ビル1階		
TEL：045-443-6976	ホームページ： http://www.cosmo.bz/ed/totsuka-seseragi/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2016年04月01日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 大和まほろば福祉会		
職員数	常勤職員：21 名	非常勤職員：3 名
専門職員	（専門職の名称）：名	栄養士：2名
	保育士：20名	子育て支援員：1名
	調理師：1名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	居室：1階保育室	設備：厨房
	居室：2階保育室	設備：職員室
		設備：トイレ

③理念・基本方針

<理念>

未来を背負う子供たちのため一人ひとりを大切にし、園生活での様々な経験を通して「生きる力」を育みます

<保育方針>

礼儀・挨拶 「おはようございます」「ありがとうございます」「ごめんなさい」が言える子に

返事「ハイ」の返事ができる子に

履物を揃える 自分の行いを振り返ることができる子に

<保育目標>

1. 子供の可能性を引き伸ばす
2. 人間の基本を身につける
3. 転んだら自分の力で起き上がる

④施設・事業所の特徴的な取組

<園として大切にしていること>

- 体操指導
- 読み書きの学習指導

- 音楽（発声、ピアノカ）
- 月一回の食育
- 躰と道徳

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年07月08日（契約日） ～ 2023年02月28日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	4回（2021年度）

⑥総評

【戸塚せせらぎ保育園の概要】

●戸塚せせらぎ保育園は、平成28年4月1日に開園し、JR戸塚駅東口徒歩4分の所に位置しています。旧国道1号線沿いの商業地に位置する6階建マンション（第7山洋ビル）の1、2階を占有園舎としています。園が位置する戸塚区は、豊かな自然を残しつつ、再開発によって生活の利便性を高め、大きな公園も複数有り、子育て支援にも積極的なエリアです。駅周辺は大型商業施設も有り、駅から少し離れると畑や柏尾川の土手沿いの桜等豊かな自然に恵まれて都会の便利さと自然のバランスを保っています。

●園舎は1階が64.139㎡で0歳児6名、1歳児12名の保育室があります。2階は131.18㎡で2歳児15名、3歳児15名、4歳児16名、5歳児16名の保育室があります。保育サービスは、乳児・幼児保育、産休明け保育、障害児保育、延長保育を行っています。園内は通りに沿って南向きに保育室が設けられおり、陽当りは良好です。また、約132㎡の砂地の園庭を有し、固定遊具は設置しないで子どものかけっこ、ボール遊び等で自由に活発に身体を動かす事を重視して保育を進めています。戸塚せせらぎ保育園の子どもたちは保育士の温かい見守りの下、のびのびと元気いっぱい園生活を楽しんでいきます。

◇特長や今後期待される点

1. 【やりぬく力を身に付ける体操】

体操、かけっこ等の運動を通して心身を十分に活動し、意欲的に運動して集中力を養い、全力で取り組むことの大切さを知る保育が行われています。そして、安全で美しい体操をより正しく、より強く、より安全にできるようにして、卒園までには全員逆立ち歩き10メートル、跳び箱10段ができるようになります。子どもたちは、失敗してもやり抜く、諦めない、克己（忍耐力）を身に付け、自信をもって卒園します。

2. 【自分で理解し、洞察力を身に付ける学習】

「自学自習までの道のりを学ぶ」を実践し、学習の基礎（ひらがなが読める、自分の名前を書く、背筋を伸ばして寄りかからないで座ること）が身につく保育が行われています。「読み」では、簡単な文の内容が理解できるようになって本読みが好きになり、読みを通して相手の気持ちに気づき、思いやりの心を育みます。「書き」では、全てのひらがな・カタカナが書けるようになり、計算は10までの足し算・引き算ができるようになるよう在園時に身に付けています。

3. 【豊かな感性を育む音楽】

歌と鍵盤学習を通して、日本の美しい言葉の持つ意味、歌へ込められた思い、素晴らしさを理解できるようになる保育が行われています。思いやる心や楽しい気持ち、協調性、考える力、集中力・忍耐力を培っています。

「歌」では、きれいな声で気持ちを込めて歌う。歌の背景や歌詞の意味を理解して故郷、君が代を重点的に歌います。「鍵盤」では、ドレミファソラシドの音階がわかるよう学

習し、#、bの入った曲に挑戦しています。

4. 【食べる意欲・生きる力を蓄える食育】

良く食べて、生きる力を蓄える食育が行われています。食べる意欲を大切にし、食体験を生かして「楽しく」・「おいしく」・「よく噛んで」食べること、食べ物を大切にすること、食に対する感謝の気持ちを育み、適切な習慣により乳児・幼児の健全を目指します。子どもたちは、食事のマナーを身に付け、配膳、片付け、調理の手伝いをするこ
とや、食を通して季節感や食文化、伝統行事を理解する機会をふんだんに得ています。

5. 【保護者との情報共有へさらなる取り組み】

今回の保護者アンケートから、「懇談会や個別面談等での意見交換」、「送迎時の職員との会話や連絡帳・掲示物」、「相談ごとへの対応」についての不満が見られます。園では、昨年度より連絡帳等の他にICTの利用でInstagramやZoomの活用を実施していますが、大幅な改善が見られません。今後、保護者との情報共有はさらに工夫が望まれます。情報共有は随時の双方向通信が理想であり、その機能を有したICTアプリでの運営を考え、保護者との情報共有をさらに向上し、保育に対する安心感・信頼を高めることが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名：戸塚せせらぎ保育園

<評価（自己評価等）に取り組んだ感想>

令和4年度も大変お世話になりました。

年々少しずつではありますが、園の課題を改善し、職員の意見を大切にできる職場作りが実現できるようになっています。

第三者評価を受審する度に学ばせていただく機会を今後も大切にしていきます。

<評価後取り組んだ事として>

1. 次年度へ向けた年間計画の作成
2. 人権擁護のためのセルフチェック・ディスカッション（昼礼にて）
3. 利用者アンケート結果を全職員で共有・ディスカッション

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり